

# 国道274号 日勝峠の災害箇所への復旧

---

平成29年7月26日

国土交通省 北海道開発局

建設部 道路維持課 林 憲裕

# 平成28年8月に北海道を相次いで襲った台風



# 台風による国道の主な被災箇所



**R38** かりかち 狩勝峠

**R273** こうげん 高原大橋

**R273** 高原大橋

**R335** らうすちよう れびんちよう 羅臼町礼文町

**R335** KP2.6

**R38** みなみふらのちよう おちあい 南富良野町市街地～落合

**R38** たいへい 太平橋

**R39** せきほく 石北峠

**R274** しんせい 新清橋

**R38** こばやし きよみ 小林橋・清見橋

**R38** こばやし 小林橋

**R274** にっしょう 日勝峠 L=43.8km (※)

(※)被災当時の通行止め延長  
H29.7.26現在 L=36.1km

**R38** めむろ もとむら 芽室橋、元村橋

**R236** のづか 野塚峠

- 凡例
- NEXCO 開通区間
  - - - NEXCO 事業中
  - 直轄 開通区間
  - - - 直轄 事業中
  - 一般 国道



# 国道274号の被災及び調査の状況

- ・被災直後は、被災状況の把握すらできない状況であった。
- ・車両進入が困難な箇所を徒歩の他、自転車・ヘリコプターによる移動、ゴムボートでの渡河等の様々な工夫により調査を行った。



徒歩による移動



自転車による移動



自転車による移動



徒歩による移動



ゴムボートによる渡河



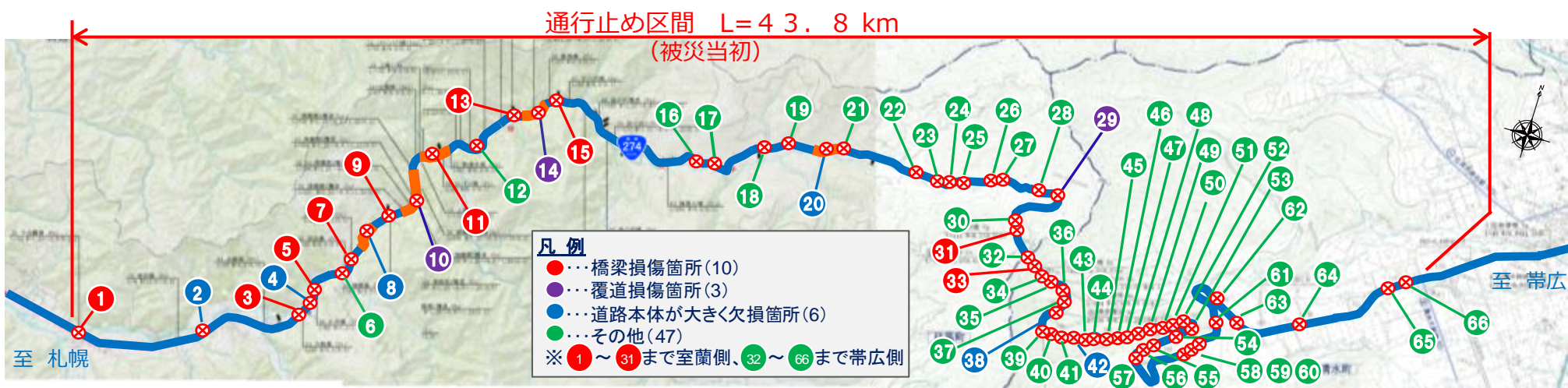
ドローンによる空中写真撮影

# 国道274号の被災及び調査の状況

- 被災から約1ヶ月後の9月末に全区間の被災状況を把握
- 過去に例を見ない、大規模な被災であることが明らかになった

○被災箇所数 66箇所

主な被災【橋梁損傷】10箇所、【覆道損傷】3箇所、【大規模欠損】6箇所



① 千呂露橋落橋



⑩ 清瀬覆道損傷



③⑧ 帯広側8号目付近盛土崩壊



# 国道274号の被災及び調査の状況

- ・被災から約1ヶ月後の9月末に全区間の被災状況を把握
- ・過去に例を見ない、大規模な被災であることが明らかになった

7 岩瀬橋落橋



42 帯広側7号目付近盛土崩壊



29 三国の沢覆道損傷



61 切土崩壊



# 早期復旧に向けた課題

- ・地域の経済活動を一刻も早く再開させるため早期復旧が求められていた。
- ・現地条件等から以下の課題が山積

## 1) 峠のため迂回路が無い。工事用車両の乗り入れも困難

⇒空蘭側（日高町千栄地区）には孤立集落が発生

⇒応急・恒久対策のためには車両走行可能な工事用道路の早期整備が必要

## 2) 日勝峠は例年10月には降雪に見舞われ、地吹雪も多発

⇒工事用道路の整備は、本格的な冬が来る前の完了が必要

## 3) 峠の頂上付近は累計積雪量も4m近くとなり、本格的な雪解けは5月から

⇒春からの早期工事着手を可能にするためH28冬期から除雪を開始

# 孤立集落解消 【千呂露橋 作業用仮橋の早期架設】

- ・千呂露橋の落橋により日高町千栄地区が孤立集落となった。
- ・作業用仮橋を約10日間で架設し、孤立集落を解消した。



△落橋状況 (H28.8.31)



△道路洗掘防止工完了 (H28.9.5)



△復旧作業用仮橋架設状況 (H28.9.9)



△仮設完了状況 (H28.9.13)



△一般車両通行状況 (H28.9.13)

## 地域の声 (三輪日高町長)

「274号がやられて水と電気が駄目になった。それでも2週間で仮仮橋ができ、それから復旧作業ができた。電気は戻った。水も1日中に戻る。開発局の対応に感謝している」



- ・ダンプトラック等が走行可能な工事用道路を早期に確保するため、車道に堆積した土砂等の撤去、仮橋施工、大規模欠損箇所の盛土等を実施

## ○車道啓開作業状況



車両が走行できるように車道上に体積した土砂等の撤去を先行実施

詳細調査や本格的な施工のためには早急な啓開作業が重要

## ○大規模欠損箇所での盛土準備状況



大規模欠損箇所での本格的な盛土に先立ち、破損した構造物の撤去や機械足場の構築を行う

崩壊地内での作業は慎重な作業が求められた

## ○仮橋 橋台施工状況



落橋した箇所を渡河するためには仮橋が必要

仮橋の橋台工を実施

## ○徒歩による燃料輸送状況



重機や発動発電機の燃料や資機材を人海戦術で運搬!

# 早期復旧に向けた対策 【恒久復旧に向けた準備】

・平成28年度内は応急・恒久対策を実施するとともに、平成29年度恒久対策の本格実施に向け、様々な準備を行ってきた。

## ○擁壁工 施工状況



H29年度からの本格的な恒久対策（盛土工事等）に向け、本格的な冬を迎える前に擁壁工を急ピッチで施工

## ○仮橋工 上部架設状況



H29年度の恒久対策のための工事用道路及び秋の供用に向け、仮橋の上部工架設を実施

## ○除雪工



H29年度からの恒久復旧を早期に着手するため除雪工を実施

被災箇所では吹きだまりが発生し、沢地を埋め尽くす。

## ○応急復旧法面のシート防護状況



本格的な冬の前に、応急復旧箇所の法面を、春先の雪解け水による影響を防止するため、シート保護を実施

# 平成29年秋頃の開通に向けた恒久対策が本格化

- ・平成29年度になり、恒久対策工事が本格始動
- ・室蘭側、帯広側あわせて50本以上の工事を発注し、全力で工事を実施

## ○行き交うダンプトラック



狭小な施工ヤード、工事用道路を多数のダンプトラックが行き交い、土砂等の運搬を行っている。

## ○多数の重機を投入



厳しい現場状況のなか、早期開通に向けて多数の建設機械を投入し全力で工事に取り組んでいる。

## ○日勝峠復旧工事連絡協議会



他官庁発注工事も含めて週単位での工程管理を実施。円滑な工事進捗が図られるよう連絡調整を実施している。

## ○工事打ち合わせ状況



関係者が一丸となって、問題点や早期開通に向けたアイデアを出し合っている。

# 平成29年秋頃の開通に向けた恒久対策が本格化

・平成29年秋頃 通行止め解除を目指す！

7 岩瀬橋落橋

【被災直後】



10 清瀬覆道損傷

【被災直後】



24 室蘭側8号目  
切土崩壊、盛土崩壊、土砂流出

【被災直後】



【基礎工事を実施中 (H29.7.11)】



【擁壁工事を実施中 (H29.7.11)】



【函渠工事を実施中 (H29.7.11)】



# 平成29年秋頃の開通に向けた恒久対策が本格化

## ・平成29年秋頃 通行止め解除を目指す！

38 帯広側 8号目付近盛土崩壊

【被災直後】

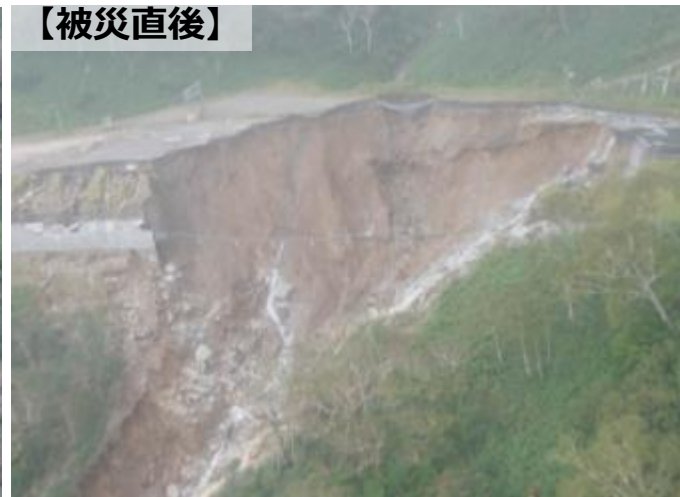


【盛土工事を実施中 (H29.7.10)】



42 帯広側 7号目付近盛土崩壊

【被災直後】



【盛土工事を実施中 (H29.7.10)】



61 帯広側 1号目切土法面崩壊

【被災直後】



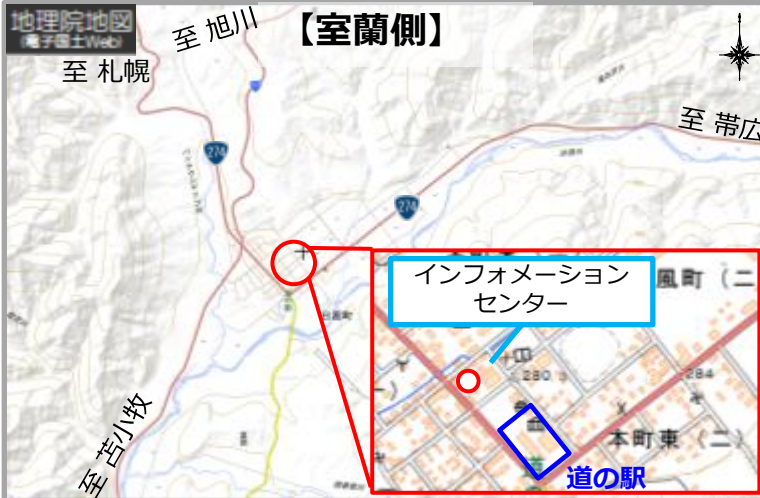
【函渠工事を実施中 (H29.7.11)】



# 最新の工事進捗状況

## インフォメーションセンター

現地から最新の進捗状況等を情報発信

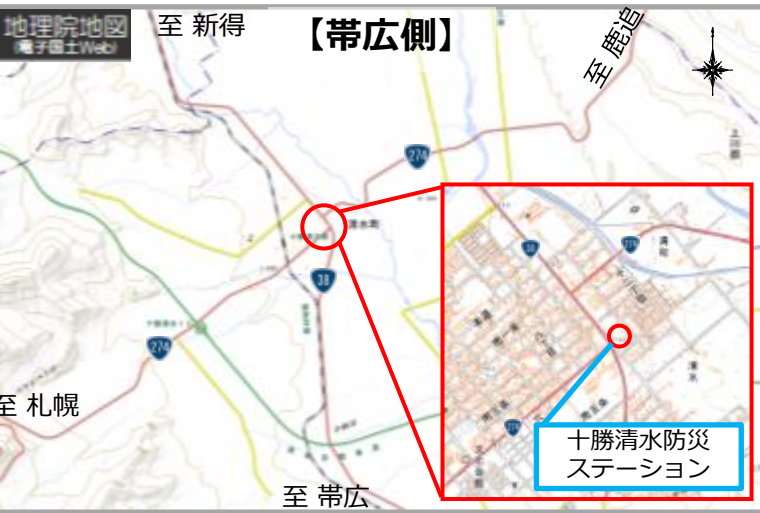


インフォメーションセンター外観



インフォメーションセンター内部

住所：北海道沙流郡日高町本町東3丁目  
平成29年7月12日（水）～ ※毎週火～木曜日 10:00～15:00



十勝清水防災ステーション外観



十勝清水防災ステーション内部

住所：北海道上川郡清水町南4条11丁目  
平成29年7月13日（木）～ ※毎週月～日曜日 9:00～16:30

## ホームページ

各開発建設部のホームページからも確認できます

【室蘭開発建設部】

[http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/douro\\_keikaku/c5b1ee0000006qz7.html](http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/douro_keikaku/c5b1ee0000006qz7.html)

【帯広開発建設部】

[http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/douro\\_keikaku/fns6al0000006p2g.html](http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/douro_keikaku/fns6al0000006p2g.html)



←上記のアドレス入力やHP内のバナーをクリックすると以下の様な地図がでます

【画面イメージ】



クリック

- ▶ (7)岩瀬橋落橋
- ▶ (8)千栄地区大規模欠損
- ▶ (10)清瀬覆道損傷
- ▶ (16)室蘭側日勝峠5合目切土崩壊
- ▶ (20)室蘭側日勝峠6合目大規模崩落
- ▶ (24)室蘭側日勝峠8合目切土崩壊、盛土崩壊、土砂流出
- ▶ (29)三風の沢覆道損傷
- ▶ 帯広側の状況。（新規ウィンドウで開く）



写真 (3PG:1.35MB)

平成29年7月11日 基礎工事を実施中

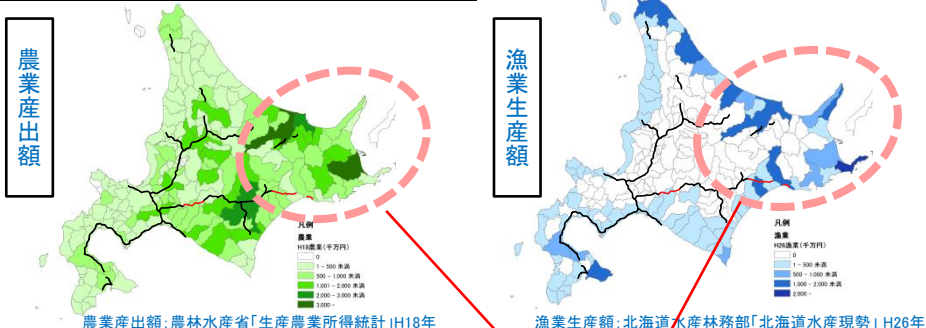


被災箇所名をクリックすると右のようなウィンドウが開き「被災直後」「現在の工事状況」等を写真で確認

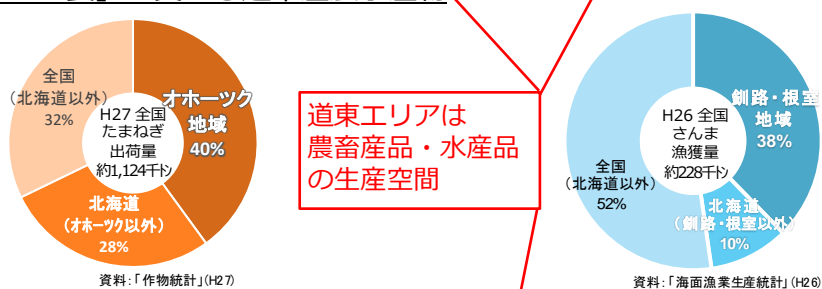
# 国道274号日勝峠の必要性(生産空間と消費地を結ぶ主要ルート)

- 国道274号と道東自動車道は、北海道の生産地である道東圏と消費地である道央圏とを結び、北海道の経済を支える主要な道路として機能。特に国道274号日勝峠は、道東圏から道央、道南、道外への物流における主要路線として機能。
- 十勝・釧路・根室・オホーツク地域は、馬鈴薯や玉葱、さんま等の農畜水産物の生産において高い国内シェアを誇り、我が国の食糧基地として機能。国道274号日勝峠は、それら農畜水産物を日本全国へ供給する主要ルートとして貢献。

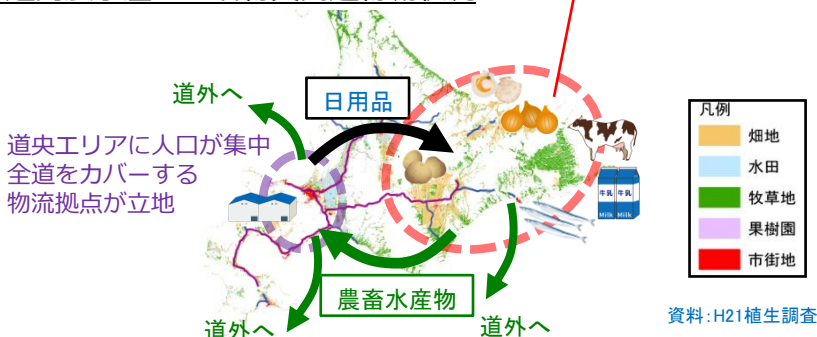
## ▼北海道における農業・漁業生産状況



## ▼日本の「食」を支える道東産農水産物



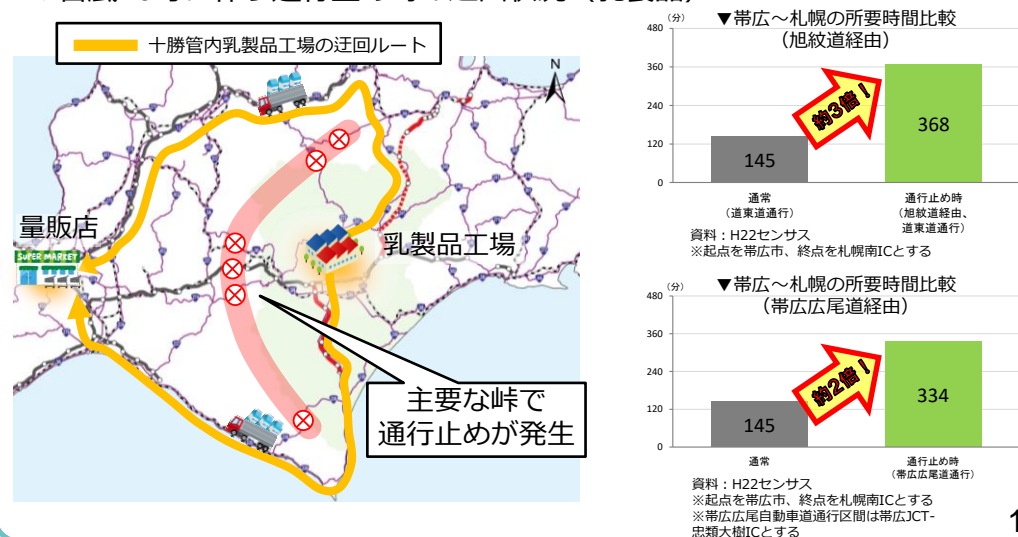
## ▼道内農水産・生活物資関連物流状況



## ▼広域分散型地域構造の輸送を支える



## ▼台風10号に伴う通行止め時の迂回状況(乳製品)



**ご静聴ありがとうございました。**